

# 仙台市における今後の高齢者保健福祉施策の方向性

## 1 仙台市の高齢化の状況

### (1) 人口推計

年次	2015年 (平成27年)	2020年 (平成32年)	2025年 (平成37年)	2030年 (平成42年)	2035年 (平成47年)	2040年 (平成52年)
総数	1,060,592人	1,062,461人	1,055,653人	1,040,953人	1,018,708人	988,598人
15～64歳	690,910人:65%	668,734人:63%	652,170人:62%	630,577人:61%	596,296人:59%	548,151人:55%
65歳以上	237,732人:22%	269,798人:25%	289,095人:27%	305,742人:29%	324,363人:32%	348,356人:35%
内 65～74歳	124,277人:12%	132,542人:12%	121,201人:11%	118,635人:11%	129,002人:13%	146,424人:15%
訳 75歳以上	113,455人:11%	137,256人:13%	167,894人:16%	187,107人:18%	195,361人:19%	201,932人:20%

(平成22年の国勢調査をもとに、国立社会保障・人口問題研究所が平成25年3月に行った市区町村別推計)

### (2) 高齢者世帯の推移

年次	平成27年4月1日	平成28年4月1日	平成29年4月1日
世帯総数	489,934世帯	495,592世帯	499,667世帯
65歳以上のみ世帯	99,424世帯:20.3%	104,746世帯:21.1%	109,295世帯:21.9%
65歳以上のみ一人世帯	56,746世帯:11.6%	59,948世帯:12.1%	62,592世帯:12.5%

(住民基本台帳ベース)

### (3) 認知症高齢者数の推計

年次	2015年 (平成27年)	2020年 (平成32年)	2025年 (平成37年)	2030年 (平成42年)	2035年 (平成47年)	2040年 (平成52年)
各年齢の認知症有病率が一定の場合	37,324人:15.7%	46,405人:17.2%	54,928人:19.0%	63,594人:20.8%	71,360人:22.0%	75,942人:21.4%
各年齢の認知症有病率が上昇する場合	38,037人:16.0%	48,564人:18.0%	59,554人:20.6%	70,932人:23.2%	82,388人:25.4%	88,482人:25.4%

(上記(1)の65歳以上人口をもとに、「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究(平成26年度厚生労働科学研究費補助金特別研究事業 九州大学 二宮教授)」より推計)

## 2 地域包括ケアシステムにかかる国の動向～介護保険法等の一部を改正する法律案

### ○地域包括ケアシステムの深化・推進

- ① 自立支援・重度化防止に向けた保険者機能の強化等の取組の推進
- ② 医療・介護の連携の推進等
- ③ 地域共生社会の実現に向けた取組の推進等

### ○介護保険制度の持続可能性の確保

## 3 現計画の振り返りと課題、求められる対応

別紙

## 4 今後の施策の方向性（案）

参考：現計画における基本目標

高齢者がその尊厳を保ち、健康で生きがいを感じながら、社会を支え続けるとともに、支援が必要になっても地域で安心して暮らすことができる社会の実現を目指します

※下線部＝本市が目指す地域包括ケアシステム

### ○基本的な方向性

基本目標の実現（本市が目指す地域包括ケアシステムの構築）に向け、より具体的にイメージを共有できるよう、以下の3つの基本的な方向性を設定。

- I 高齢者が健康で生きがいを感じながら活躍し続けられる
- II 支えが必要となったとき、身近に相談でき、医療・介護・生活支援サービス等が連携した適切な支援を受け、地域で見守られながら暮らし続けることができる
- III 介護サービス基盤が充実し、それを支える人材が確保されている

### ○上記を実現するために次期計画で取り組む施策レベルの方向性

〈I 高齢者が健康で生きがいを感じながら活躍し続けられる〉

- ① 高齢者が健康と元気を維持できる環境づくり
- ② 高齢者がその知識・経験や能力を活かして活躍し続けられる機会の充実

〈II 支えが必要となったとき、身近に相談でき、医療・介護・生活支援サービス等が連携した適切な支援を受け、地域で見守られながら暮らし続けることができる〉

- ③ 必要な支援を得ながら自立した生活を続けられる体制づくり
- ④ 地域の資源やつながり、専門職との連携を生かした、地域の支え合いへの支援
- ⑤ 認知症になっても安心して暮らせるまちづくり

〈III 介護サービス基盤が充実し、それを支える人材が確保されている〉

- ⑥ 介護サービス基盤の整備
- ⑦ 高度化する介護ニーズへ対応できる人材の確保

3 現計画の振り返りと課題、求められる対応（別紙）

現計画の施策の柱	現計画における取組実績	現状	考察と課題、求められる対応
1 高齢者の社会参加・生きがいづくりの促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○老人クラブへの助成                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・28年度実績 446団体・20,352人</li> <li>・27年度実績 462団体・21,298人</li> </ul> </li> <li>○シルバー人材センターによる臨時的・短期的な仕事のあっせん                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・28年度実績 契約金額1,093,995千円 2,573人</li> <li>・27年度実績 契約金額1,064,864千円 2,538人</li> </ul> </li> <li>○せんだい豊齢学園による講座の実施                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・28年度実績 修了者数123人</li> <li>・27年度実績 修了者数119人</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●平均寿命の延伸（28年版高齢社会白書） 26年実績：男80.50歳、女86.83歳、72年見込：男84.19歳、女90.93歳</li> <li>●高齢者人口の増加と生産年齢人口の減少</li> <li>●外出の頻度（28年度高齢者一般調査） ほぼ毎日31.9%（25年度比+4.2ポイント）</li> <li>●社会参加の状況（28年度高齢者一般調査） 特に参加していない48.2%（25年度比+1.4ポイント）</li> <li>●日常生活の不安（28年度高齢者一般調査） 生活費のこと26.6%（25年度比+3.8ポイント）</li> </ul>	<p>○高齢化がさらに進む中で、健康やQOLを維持・向上することがますます重要</p> <p>○元気な高齢者が増える一方、社会参加をしない方が増えており、社会や地域との関わりを持てる多様な活動機会が求められる</p> <p>○地域や社会における高齢者の役割への期待の高まりの中で、高齢者の能力や価値観、状況に応じた活動機会（収入にもつながる）を充実することが必要</p> <p>○介護予防の重要性は理解が進んでいるが、実際に取り組む方が減少。健康な方が増加する一方、健康に不安を感じる方は増えており、健康づくり・介護予防により取り組みやすくなることが必要</p> <p>↓</p> <p>（施策の方向性）</p> <p>◇高齢者が健康と元気を維持できる環境を充実する</p> <p>◇高齢者がその知識・経験や能力を活かして活躍し続けられる機会を充実する</p>
2 介護予防に積極的に取り組める環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域包括支援センターによる介護予防教室                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・28年度実績 1,031回・17,926人</li> <li>・27年度実績 983回・17,506人</li> </ul> </li> <li>○介護予防自主グループ育成・支援                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・28年度実績 研修116回、グループ登録数192団体</li> <li>・27年度実績 研修116回、グループ登録数181団体</li> </ul> </li> <li>○豊齢力チェックリスト該当者への介護予防の勧奨（二次予防事業対象者把握）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・28年度実績 9,522人</li> <li>・27年度実績 9,488人</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日常生活の不安（28年度高齢者一般調査） 自身や家族の健康のこと64.2%</li> <li>●健康状態（28年度高齢者一般調査） とても健康・まあまあ健康76.4%（25年度比+2.0ポイント）</li> <li>●介護予防の取り組み状況（28年度高齢者一般調査） 取り組んでいる43.5%（25年度比▲9.7ポイント）</li> <li>●介護予防に取り組まない理由（28年度高齢者一般調査） 介護予防に取り組まなくても日常生活に支障がないから28.9%</li> <li>●新しい総合事業の開始</li> </ul>	<p>○高齢者世帯が増加する中、日常生活や介護、認知症などの不安に対応する身近な相談体制やサービス、支えとなる地域づくりへのニーズが高まっている</p> <p>○要介護や認知症となっても地域で暮らし続けたい高齢者と介護する家族の負担や不安の軽減が求められ、介護保険等のサービスに加え、地域の理解や支え合い、専門職等のネットワーク化への期待が高まっている</p> <p>○地域ごとに高齢化の状況が異なることをふまえ、地域の実情に応じ、活動団体等の資源や地域のつながりを生かした見守りや支え合いが行われるよう支援することが重要</p> <p>○地域で暮らし続けるうえで、多様なニーズに対応した住まいを確保することが重要</p> <p>↓</p> <p>（施策の方向性）</p> <p>◇必要な支援を得ながら自立した生活を続けられる体制づくりを進める</p> <p>◇地域の資源やつながり、専門職の連携を生かした、地域の支え合いが行われるよう支援する</p>
3 地域における支え合いの体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○住民主体による訪問・通所型生活支援モデル事業の実施                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・28年度実績 補助団体数18団体</li> </ul> </li> <li>○民間企業との見守り協定の締結                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・28年度実績 通報件数21件</li> <li>・27年度実績 通報件数17件</li> </ul> </li> <li>○ひとり暮らし緊急通報システムの設置                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・28年度実績 設置台数3,700台</li> <li>・27年度実績 設置台数3,294台</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ひとり暮らし、高齢者のみ世帯の増加</li> <li>●地域ごとに異なる高齢化の状況（中学校区別高齢化率） 最低：七北田中学校区13.3%、最高：広陵中学校区39.5%（29年4月時点）</li> <li>●地域やボランティア等の支援でもよいサービス（28年度高齢者一般調査） 掃除48.5%、買い物・薬の受け取り43.5%、レクリエーションや体操39.1%</li> <li>●高齢者を支援するボランティア活動への取り組み意向（28年度高齢者一般調査） 取り組んでみたいと思うが、きっかけがない17.1%</li> </ul>	<p>○高齢者世帯が増加する中、日常生活や介護、認知症などの不安に対応する身近な相談体制やサービス、支えとなる地域づくりへのニーズが高まっている</p> <p>○要介護や認知症となっても地域で暮らし続けたい高齢者と介護する家族の負担や不安の軽減が求められ、介護保険等のサービスに加え、地域の理解や支え合い、専門職等のネットワーク化への期待が高まっている</p> <p>○地域ごとに高齢化の状況が異なることをふまえ、地域の実情に応じ、活動団体等の資源や地域のつながりを生かした見守りや支え合いが行われるよう支援することが重要</p> <p>○地域で暮らし続けるうえで、多様なニーズに対応した住まいを確保することが重要</p> <p>↓</p> <p>（施策の方向性）</p> <p>◇必要な支援を得ながら自立した生活を続けられる体制づくりを進める</p> <p>◇地域の資源やつながり、専門職の連携を生かした、地域の支え合いが行われるよう支援する</p>
4 地域で認知症の方とその家族を支える体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>○認知症初期対応サポートチームによる支援                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・28年度実績 全地域包括支援センターで実施</li> <li>・27年度実績 32地域包括支援センターで実施</li> </ul> </li> <li>○認知症ケアパスの作成                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・28年度実績 地域版ケアパスを作成（20地域包括支援センター）</li> <li>・27年度実績 全市版ケアパスを作成</li> </ul> </li> <li>○認知症カフェの設置                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・28年度実績 58箇所</li> <li>・27年度実績 31箇所</li> </ul> </li> <li>○認知症地域支援推進員の配置                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・28年度実績 106人</li> <li>・27年度実績 69人</li> </ul> </li> <li>○認知症疾患医療センターでの診断等                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・28年度 鑑別診断710件、相談1,193件</li> <li>・27年度 鑑別診断329件、相談976件</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●今後ますます増加が見込まれる認知症高齢者の増加</li> <li>●介護予防に関し仙台市に力を入れてほしいこと（28年度高齢者一般調査） 認知症になっても安心して暮らせる地域づくり43.8%（25年度比+7.0ポイント）</li> <li>●認知症になっても安心して生活するために必要なこと（28年度高齢者一般調査） 早期相談・支援体制47.1% 在宅サービス・介護施設の充実44.5% 地域における正しい知識と理解42.5%</li> </ul>	<p>○高齢者世帯が増加する中、日常生活や介護、認知症などの不安に対応する身近な相談体制やサービス、支えとなる地域づくりへのニーズが高まっている</p> <p>○要介護や認知症となっても地域で暮らし続けたい高齢者と介護する家族の負担や不安の軽減が求められ、介護保険等のサービスに加え、地域の理解や支え合い、専門職等のネットワーク化への期待が高まっている</p> <p>○地域ごとに高齢化の状況が異なることをふまえ、地域の実情に応じ、活動団体等の資源や地域のつながりを生かした見守りや支え合いが行われるよう支援することが重要</p> <p>○地域で暮らし続けるうえで、多様なニーズに対応した住まいを確保することが重要</p> <p>↓</p> <p>（施策の方向性）</p> <p>◇必要な支援を得ながら自立した生活を続けられる体制づくりを進める</p> <p>◇地域の資源やつながり、専門職の連携を生かした、地域の支え合いが行われるよう支援する</p>
5 多職種連携による在宅での療養・介護提供体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域ケア会議の開催                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・28年度実績 個別ケア会議81回、包括圏域会議189回</li> <li>・27年度実績 個別ケア会議107回、包括圏域会議152回</li> </ul> </li> <li>○専任職員の配置による地域包括支援センターの機能強化                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・28年度 全50センターに配置</li> <li>・27年度 25センターに配置</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域包括支援センターに今後期待すること（28年度高齢者一般調査） 介護等の相談受付54.6%（25年度比+6.0ポイント） 地域機関等のネットワークの充実33.7%（25年度比+2.9ポイント） 認知症に関する普及啓発・地域づくり31.0%（25年度比+5.3ポイント）</li> <li>●今後介護を受けたい場所（在宅者等）（28年度要介護者等調査） 自宅48.4%（要介護3・4でも5割超）</li> <li>●介護をするうえで困った点・不満な点（28年度要介護者等調査） 介護がいつまで続くのか不安43.2%、やさしく接することができない時がある31.8%、自分の時間がとれない31.3%</li> <li>●在宅療養体制の充実の必要性</li> <li>●地域の支え合い体制づくりの中核としての期待 地域包括支援センターの働きかけにより、地域に認知症カフェの開設や、生活支援活動などの取り組みが展開されている</li> </ul>	<p>○高齢者や介護者のニーズをふまえ、制度の変化にも対応しながら、必要な介護サービス基盤を整備し、質を確保することが必要</p> <p>○介護人材の不足が懸念される中で、認知症や医療連携など複合的な介護ニーズへの対応も求められる。介護職に対する理解を深め、人材の確保と質の向上に取り組むことが必要</p> <p>↓</p> <p>（施策の方向性）</p> <p>◇必要な介護サービス基盤を整備する</p> <p>◇高度化する介護ニーズに対応できる人材を確保する</p>
6 日常生活圏域を中心とした介護サービス基盤の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>○介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）の整備（選定済含む）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・28年度 累計65施設（4,508床）</li> <li>・27年度 累計62施設（4,249床）</li> </ul> </li> <li>○介護老人保健施設の整備（選定済含む）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・28年度 累計35施設（3,480床）</li> <li>・27年度 累計34施設（3,380床）</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●施設整備計画に基づくサービス基盤の整備を実施</li> <li>●高齢者、障害児者の福祉サービスを総合的に提供する共生型サービスの検討の必要性</li> <li>●地域包括ケアシステムのために必要なこと（28年度高齢者一般調査） 24時間対応の在宅介護サービスの充実47.1%（25年度比+6.3ポイント）</li> </ul>	<p>○高齢者や介護者のニーズをふまえ、制度の変化にも対応しながら、必要な介護サービス基盤を整備し、質を確保することが必要</p> <p>○介護人材の不足が懸念される中で、認知症や医療連携など複合的な介護ニーズへの対応も求められる。介護職に対する理解を深め、人材の確保と質の向上に取り組むことが必要</p> <p>↓</p> <p>（施策の方向性）</p> <p>◇必要な介護サービス基盤を整備する</p> <p>◇高度化する介護ニーズに対応できる人材を確保する</p>
7 将来にわたる介護人材の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事業所への指導監査による実態把握、指導・助言                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・28年度実績 指導：264事業所、監査：5事業所</li> <li>・27年度実績 指導：273事業所、監査：6事業所</li> </ul> </li> <li>○新任介護職員を対象にした交流会                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・28年度実績 1回開催</li> <li>・27年度実績 1回開催</li> </ul> </li> <li>○介護職の魅力等PRパンフレット作成                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・28年度実績 大学生向けPRパンフレット作成</li> </ul> </li> <li>○中学生の職場体験受け入れ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●介護人材に係る需給推計（宮城県） 2025年（供給見込31,396人、不足数14,136人）</li> <li>●認知症高齢者や医療依存度の高い高齢者への対応の増加</li> </ul>	<p>○高齢者や介護者のニーズをふまえ、制度の変化にも対応しながら、必要な介護サービス基盤を整備し、質を確保することが必要</p> <p>○介護人材の不足が懸念される中で、認知症や医療連携など複合的な介護ニーズへの対応も求められる。介護職に対する理解を深め、人材の確保と質の向上に取り組むことが必要</p> <p>↓</p> <p>（施策の方向性）</p> <p>◇必要な介護サービス基盤を整備する</p> <p>◇高度化する介護ニーズに対応できる人材を確保する</p>
8 多様な生活ニーズに対応した快適で安心できる暮らしの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>○サービス付き高齢者向け住宅の登録及び質の確保                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・28年度 延べ登録件数48件（1,509戸）</li> <li>・27年度 延べ登録件数43件（1,340戸）</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●要介護認定者数の増加</li> <li>●今後介護を受けたい場所（在宅者等）（28年度要介護者等調査）（一部再掲） 自宅48.4%（要介護3・4でも5割超）、賃貸住宅4.3%、サービス付き高齢者向け住宅4.2%</li> <li>●在宅療養体制の充実の必要性（再掲）</li> </ul>	<p>（再掲）</p> <p>○地域で暮らし続けるうえで、多様なニーズに対応した住まいを確保することが重要</p> <p>↓</p> <p>（施策の方向性）</p> <p>◇必要な支援を得ながら自立した生活を続けられる体制づくりを進める</p>